

新卒看護師採用の豆知識

入社したスタッフの声をお届けします！



3年間の育成プログラムやステーションでのフォロー体制はいかがですか？



まずは入社時研修があり、研修担当の方と集合研修を行いました。その後、配属先でOJTを中心に、**サポーター**の先輩や所長さんはもちろんですが、ステーションのスタッフの皆さんから熱心に指導して頂いています。

日々の訪問で感じる不安や疑問、課題もたくさんありますが、サポーターの先輩と一緒に整理・確認ができるので、溜めずに解消できていると感じます。

研修室での月に一度のフォローアップ研修で、研修担当の方と自分の成長や次への課題を確認する機会もあり、一步一步確実にステップを踏んで成長ができる環境だと思います。

定期的に同期と会える機会でもあるので、お互いの悩みや感じる不安を共有できる仲間がいるのはとても心強いです。

また、習得に不安があった医療技術については、病院研修でトレーニングできたので自信につながりました。2年目には他職種との連携について考える機会となる地域連携研修もあり、とても充実しているなと感じています。

CHECK!



新卒看護師をサポートする「サポーター」

セコムでは配属先の事業所で、新卒看護師の相談窓口の役割を担っている先輩看護師のことを「サポーター」と呼んでいます。

新卒看護師はサポーターと一緒に、自身の成長や課題についての確認や、不安や疑問と一緒に考え成長していきます。

セコムでは2006年から新卒採用を行っているため、なかには新卒で入社し、既にベテラン訪問看護師として活躍するスタッフがサポーターを務めている事業所もあります。

また、月に1回「サポーターミーティング」を行い、サポーター同士での情報共有や課題・目標の確認を行っています。



ひとりでの訪問は、不安が大きくありませんでしたか？



入社後すぐにひとりでの訪問が始まるわけではなく、まずは先輩との**同行訪問**から始まります。配属されて1カ月経ったくらいで、それまでに何度か同行訪問しているご利用者に1人で訪問するようになりました。

観察のポイントやケアの方法など、先輩に何度も確認をして訪問に向かいますが、いざ訪問すると高熱が出ていたり、転倒して怪我をされていたり…予想外のことや分からないことが起こっている場合もあります。

その時は、いつでも相談できる体制が整っているので、先輩や所長さんに携帯電話で報告し、状態の判断とケア方法についてアドバイスをもらうことができます。もちろんそれでもすごく緊張はしますが、1人での訪問ができるようになったと思います。

訪問から戻ったら、その日の報告を行い、先輩と看護の振り返りを行います。ご利用者の状況理解や看護の評価など、訪問についての内容を振り返り、次回への課題を確認します。毎日の積み重ねが、訪問看護師としての力になったと感じます。



「同行訪問」から単独訪問へのステップ

見学

部分的な
ケアの実施

主体的に
実施

単独訪問

「同行訪問」にもステップがあります。

まずは先輩看護師のケアをうしろから見て、学習します。

その後、一緒にケアを実施し、少しずつできることを増やしていきます。

そして、先輩看護師の見守りのもと、主体的にケアを実施します。

このように、ひとつひとつのステップを踏んだうえで、1人での訪問を行うようになっていきます。



疑問や不安をひとつひとつ解消しながら、ステップアップしていくことができたんですね。
それでは最後に、どんな訪問看護師を目指しているか、教えてください



訪問看護師として勤務するなかで、1人ひとりのご利用者と向き合うことはもちろんですが、在宅ではご家族とも向き合うことがとても大切だと学びました。

しっかりとした知識や技術を身につけ、家で暮らしているその人と家族の支えになれるような訪問看護師になりたいと、強く思っています。